



川崎市の中学生高校生による剣道交流

「若竹交流会」が開催されました

- ◆ 令和8年2月1日（日）
- ◆ シンコースポーツ神奈川県立武道館
- ◆ 参加 川崎市内中学校 15校 男子66名 女子44名
川崎市内高校 7校 男子18名 女子14名
道場・剣友会 3団体

本年度は神奈川県剣道連盟 将来構想剣道人口検討部会
モデル事業として開催されました

2月1日 若竹交流会

会場 シンコースポーツ神奈川県立武道館

- 
- 開会 神奈川県剣道連盟 野見山会長 川崎市剣道連盟 小山会長 高校生の紹介 各高校キャプテン
 - A** ● 基本練習（全体指導：高山先生） 脇垂れをつけて、面を着けずに竹刀を持って間隔をとって並ぶ 面をつけて基本稽古指導高校生元立ち
 - M** ● 合同稽古（2分高校生ー中学生 7本先生が基に立って8本）
 - 終わりの礼 午後の交流会の内容をキャプテンに説明
 - 【交流団体試合】星座別に分かれてグループを作る 1チーム18名くらいを想定 色テープ（ガムテープ）を名札に貼る チーム名をマジックで書く
 - P** ● 4試合場 人数が同じくらいのところと対戦（東西戦）
【特別ルール】始める前に相手の名札を見て「〇〇さん。お願いします。」 応援・声援はOK。できるだけ名前を呼んであげる
「楽しく試合」の主旨で行う。審判はお互いから出し、時間は2分
 - M** ● 終了後、対戦相手と挨拶。その後自分のチーム内でチーム解散ミーティング
 - 高校生からのラストPR タイム前に並び、一言アピール
 - 閉会 高校の先生より講評
 - 終了片づけ片付けは中野島中と川崎市の先生方で

今回の交流会を「若竹交流会」とネーミングしました



- 川崎市で石原和彦先生が長年(40年)続けてこられた中学校と高等学校の剣道部生徒の交流を目的に続けた中高連携事業ベースに毎年川崎市内で行われています
- 今回は、本取組みを神奈川県剣道連盟にて中学校から高校での剣道継続へのモデル事業として、神奈川県剣道連盟会長・副会長・将来構想剣道人口検討部会・川崎市剣道連盟会長と多くの出席者のもと行われました
- また、今回のモデル事業のネーミングを募集したところ、市内の小学生(剣桜会)が応募した「若竹交流会」が選ばれました

開会式 野見山会長からのお言葉

【一般社団法人神奈川県剣道連盟】



高校生の剣道継続率が課題の現状で

- ・ この交流会で一人でも多くの中学生の剣道継続につながることを期待
- ・ 県内に波及効果があることを期待

開会式では野見山会長より、若竹交流会の『竹』についてのお話をいただきました

竹は「節」から真直ぐに成長していき、節は次の成長を支える要所になっています

中学生から高校生へ節目として考えたとき、今回の中高生の交流を良い機会とし節から真直ぐに成長をしてください

午前中は基本稽古 指導稽古で

基本練習（全体指導：幸高校 高山先生）



中学校、高校の先生方基立ちの指導稽古

中学生は初めて掛かる高校の先生へ

高校生は久しぶりに出身中学校の先生に、成長した技量を見せようと掛かる姿が印象的でした



- ◆ 星座別に分かれてグループを作る
- ◆ 名札に貼る 各グループで決めた個性的でバラエティーに富んだチーム名を名札に貼る

「Z世代」「お魚ちゃんクラブ」「からあげ」「川崎南蛮定食」「KK119」「すきYAKI」など

【特別ルール】

- ◆ 始める前に相手の名札を見て「〇〇さんお願ひします」
- ◆ 応援・声援はOK できるだけ名前を呼んであげる場外は無し
- ◆ 「楽しく試合」の主旨で行う 時間は2分



**午後は参加者中高生混成
8チーム団体戦** チーム構成は**星座** これは斬新!

各校とも学校の特色をPR

- 剣道部の雰囲気
- 食堂の美味しさアピール
- トイレがきれい 設備環境は◎
- 入部したら即レギュラー確定
- 資格が取れるよ 就活◎
- 駅チカ! 好立地! 景色最高

顧問の先生は苦笑でしたが

中学生は興味津々に耳を傾けていた
のが印象的でした



**高校生からのラストPRタイム
前に並び、一言アピール**

開会から終わりまで、和やかな雰囲気と中高生の笑顔溢れる交流会でした
このような交流から一人でも多くの中学生が高校での剣道継続へ
繋がることを期待し、今回の「若竹交流会」報告とさせていただきます

作成 2026年2月

神奈川県剣道連盟 将来構想剣道人口検討部会

委員 館岡 和彦